

JA自己改革推進レポート（JA鳥取中央）9月号

1. ミニ移動編集局開局！

7月31日～8月8日までの期間、以下のような管内情報を日本農業新聞の中国四国版を中心に掲載し、集中的に情報発信を行った。

① 琴浦ブロッコリー産地の活性化へ、ゆるキャラ募る！

（生産部が小・中学校対象にコンテスト）【令和2年8月4日付/中国面掲載】

琴浦ブロッコリー生産部は、産地活性化・ブランド力向上を目的に、琴浦町の小・中学校を対象に「琴浦ブロッコリーキャラコンテスト2020」を開催した。令和2年9月1日まで募集し、最優秀賞のキャラクターを選定する。地域を巻き込んだキャラクターで地域・消費者から愛される「琴浦ブロッコリー」の産地を目指す。



キャラクター決定後は、販促資材としてSNSでの発信や試食宣伝会などに活用する。応募作品は9月下旬からAコープトピア店でも展示し、入賞者には旬の特産物を詰め合わせた「琴浦秋の特産物セット」を贈る予定。

栽培・販売を担当する後藤営農指導員は、「琴浦町と言えばブロッコリーと胸を張って言える特産物となるよう、キャラクターで生産・宣伝を強化する」と意欲を見せた。

② ケーキ手渡し「おめでとう」！（年金受給者誕生日祝う）

【令和2年8月5日付/総合社会面掲載】

高齢者が食べやすいように大山乳業農協と作ったオリジナルケーキを、JAの口座で年金を受給している組合員の誕生日に贈り、組合員との絆を強めている。

この活動は、年金受給者で構成する年金友の会の特典として15年以上取り組んでおり、各支所の複合渉外担当者らが配達している。



7月にケーキを受け取った組合員さんは、「毎年ありがたく夫婦で食べている。顔見知りの職員が届けてくれるのがうれしい」と笑顔を見せた。ケーキを届けた羽合支所の玉木範将さんは、「対面で会話することで健康や建物などの状況を知り必要な保障の見直しにも役立つ」と話した。

③ 誕生日に花苗 直売所で割引！（女性会会員増へ向けて特典アピール）

【令和2年8月5日付、JA面掲載】

JA鳥取中央女性会は、会員特典をアピールすることで会員数を令和2年4月から39人増やした。（令和2年7月27日現在）

今年は女性会への継続加入や支部の活動への参加ごとにポイントが加算される「女性会スタンプカード」を導入した。貯めたポイントで共同購入商品と交換でき、令和2年8月からは管内の直売所で提示すると5%割引になるサービスも始めた。このような会員のメリットをまとめたチラシを配り、会員の輪を広げている。

会員特典の中でも好評なのが女性会設立時から20年以上続けている「花苗の誕生日プレゼント」で、会員の農家から苗を購入し、花言葉を入れた誕生日カードと一緒に会員へ贈ることで組合員とJAのつながり強化にもなっている。

生活部の中林部長は「喜んで頂ける活動を続けながら、直売所の割引サービスでJA事業全体の相乗効果も狙い、会員を拡大していきたい」と話した。



④ コロナ対策 専門家が視察！（東郷梨選果場）

【令和2年8月5日付/中国四国面掲載】

県中部総合事務所と鳥取看護大学は8月4日、共同プロジェクトとして新型コロナウイルス感染拡大防止対策と経済・社会活動の両立に向けた「新しい生活様式出前相談会」をJA鳥取中央東郷梨選果場で初めて開いた。

プロジェクトは農業や飲食などの業界団体、商店街振興組合などを対象に感染防止策と事業活動を両立させることを目的に実施しており、同大学看護学部の荒川教授らが選果場を視察して意見を交わした。

JAとJA東郷果実部が運営する同選果場では、選果処理能力を1日当たり8000コンテナから6000コンテナにして1レーンの作業人数を3人減の8人にすることで密を避けている。荒川教授は「感染防止にはマスクを通り抜ける小さな粒子の濃度を減らすことが大事」とし、必要以上の会話を減らし、換気と空気の流れをつくることなどをアドバイスした。寺地場長は「アドバイスを参考に休憩室や会議室の消毒などの基本を徹底していく。場内全員で自覚を持って選果に当たり、今年もおいしい梨を届ける」と話した。



2. 平井知事も「うまい」！（鳥取梨 PR 動画撮影）

新型コロナ禍対策として SNS を使った農産物の PR に力を入れており、ツイッターとインスタグラムを使った「鳥取梨を食べようフォトキャンペーン」を実施している。

鳥取県の平井知事は、収穫を間近に控えた湯梨浜町宮内の梨畑に訪れ鳥取梨を PR する動画の撮影に臨んだ。本格的な梨シーズン突入に向け、平井知事の出演動画などを配信してキャンペーンの PR と消費拡大を狙う。

動画撮影した平井知事と梨連絡協議会の寺地政明会長のほか、栗原組合長や人気ユーチューバー「水溜まりボンドのトミー」、管内に選果場がある首長らがそれぞれ登場する動画も既に配信されている。キャンペーンは令和 2 年 10 月 31 日までで、「#鳥取梨を食べよう」に梨を食べた写真を投稿すると、抽選で 74 人に梨（王秋）が当たる。

